

3

価値創造の取り組み

- 15 価値創造プロセス
- 16 市場・社会環境
- 18 キオクシアグループの強み
- 19 成長戦略
- 20 事業活動
- 24 戦略マテリアリティ
- 26 創出する社会価値

1 キオクシアとは

2 トップメッセージ

3 価値創造の取り組み

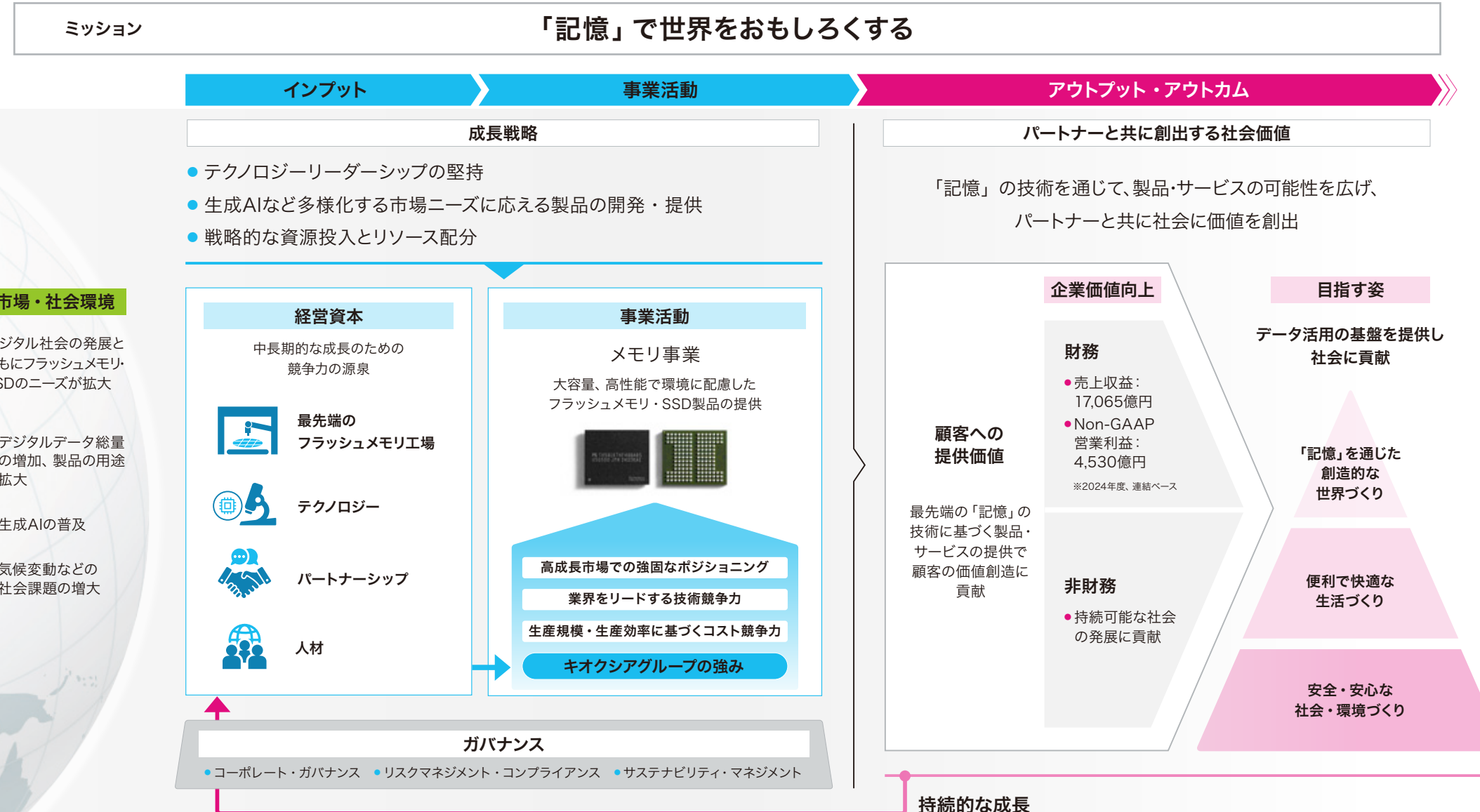
4 経営資本

5 ガバナンス

6 データセクション

価値創造プロセス

キオクシアグループは、『「記憶」で世界をおもしろくする』というミッションのもと、製品・サービスの提供で、パートナーの皆さまと共にデータ活用の基盤を提供し、社会に貢献します。生成AIの普及により、フラッシュメモリ・SSDのニーズが今後も拡大することが予想される中、競争力の源泉となる経営資本や業界をリードする強みを基盤とした成長戦略のもと、事業活動を通じた持続的な成長と、企業価値の向上を目指します。



市場・社会環境

デジタル社会の発展とともにフラッシュメモリ・SSDのニーズが拡大

● デジタルデータ総量の増加、製品の用途拡大

● 生成AIの普及

● 気候変動などの社会課題の増大

1 キオクシアとは

2 トップメッセージ

3 価値創造の取り組み

＞価値創造プロセス

市場・社会環境

キオクシアグループの強み

成長戦略

事業活動

戦略マテリアリティ

創出する社会価値

4 経営資本

5 ガバナンス

6 データセクション

市場・社会環境

- データ社会の発展、生成AIの普及を背景としたフラッシュメモリ市場の拡大
- 消費電力削減、脱炭素社会に向けた取り組みへの社会的要請

デジタル社会の発展を背景としたフラッシュメモリ市場の拡大

世界のデータ発生量の推移

世界中に広がるデータエコノミーの波の中で、人々が扱うデジタルデータの総量は増加の一途をたどっています。近年はAI、IoT、ビッグデータの活用が加速し、世界中で人々が生成するデータの量はさらに増加し、2029年にはその総量は527.5ZB（ゼタバイト）にもなると予想されています（図1）。

フラッシュメモリの需要見通し

フラッシュメモリは、技術革新と記憶容量の増大による進化を続けてきました。デジタルカメラ、スマートフォン、PC、データセンターなどに使用されてきたフラッシュメモリは、近年の生成AIの発展、クラウド、IoTなどの普及とともにその役割の重要性が増しています。

例えば、データセンターにおいては、記憶装置として磁気ディスク装置であるHDDが使用されてきましたが、読み出し性能、衝撃・振動などの耐環境性や待機時の省電力性などに優れる、フラッシュメモリを使用したSSDへの置き換えが進んでいます。

フラッシュメモリ市場における主要なアプリケーションはデータセンター、スマートフォン、PCです。データ量の増加とフラッシュメモリの技術革新の好循環によって、フラッシュメモリ市場は成長を続けるものと当社は考えています。

データ量の増加に伴い、フラッシュメモリの需要も2025年から2029年にかけて年平均成長率約20%で拡大する見込みです（図2）。先述の全体のデータ発生量とフラッシュメモリ需要を比べると、フラッシュメモリに記録される比率は0.5%程度です。

データ総量ベースの各アプリケーションのフラッシュメモリ需要についてデータセンターの年

平均成長率は26.0%、スマートフォンは20.2%、PCは15.2%（それぞれ2025～2029年（予測））と見込まれています（図2）。中でも、データセンター向けフラッシュメモリ需要の成長率が、生成AIの普及を背景に年々高くなっていることは特筆すべき点と言えます。

図1 世界のデータ発生量の推移(ZB)^{※1}

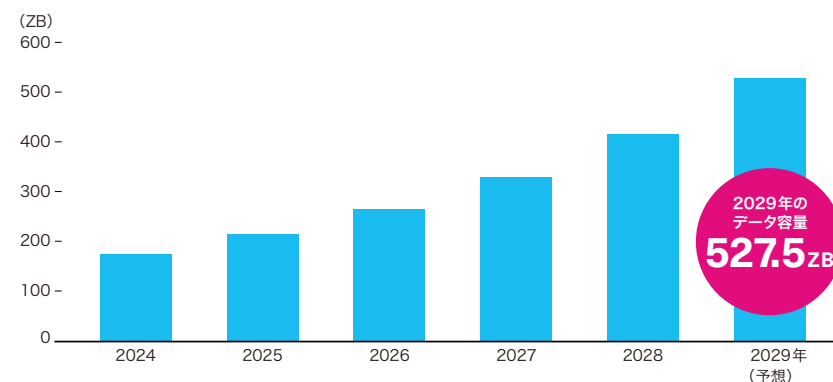
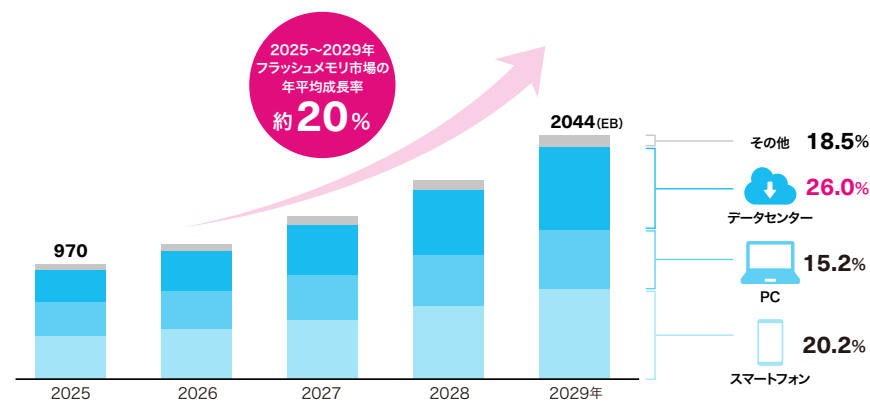


図2 フラッシュメモリの需要見通し(EB)^{※2}



※EB（エクサバイト）とは10の18乗バイト、ZB（ゼタバイト）とは10の21乗バイトを指し、データ量を表す単位です。

※1 出典：「IDC*Worldwide IDC Global DataSphere Forecast, 2025-2029」 #US53363625

※2 出典：TechInsights Inc. 「NAND Market Report Q2 2025」

1 キオクシアとは

2 トップメッセージ

3 価値創造の取り組み

価値創造プロセス

＜市場・社会環境＞

キオクシアグループの強み

成長戦略

事業活動

戦略マテリアリティ

創出する社会価値

4 経営資本

5 ガバナンス

6 データセクション

市場・社会環境

AIによるさらなるフラッシュメモリの需要拡大

生成AIは、さまざまな産業における新たな価値創出エンジンとして浸透しつつあります。膨大な情報を処理し、価値につなげる過程には、大容量、高性能、低消費電力のストレージが常に最適なデータアクセスを提供することが必要不可欠です。

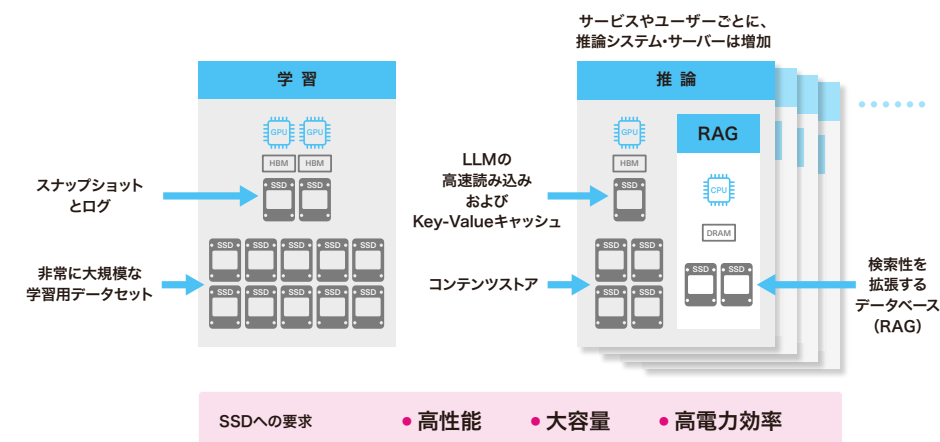
従来のエンタープライズサーバーシステムと比べ、計算処理の高速化が必要となるAIサーバーでは、大容量で高性能なSSDの需要が拡大しています。

特に市場拡大が期待されるのは「推論システム」です。生成AIは、「学習システム」で作成されたLLM（大規模言語モデル）を、企業などのさまざまなユーザーが推論システムで活用して結果を生成するというフローで運用されます。そのため、ユーザー数の増加とともに推論システムの数も増加します。

また、企業が「推論システム」において、各企業の最新のデータ、固有のデータを利用するために、RAG（Retrieval-Augmented Generation：検索拡張生成）の普及が進んでいます。大量のデータが必要なRAGの普及も、AIサーバー向けのSSDの需要拡大につながります。

また、PCやスマートフォンにおいてAI機能の搭載が増えることによって、1台当たりのフラッシュメモリ搭載容量の増加が期待されます。

生成AIにおけるSSDの役割



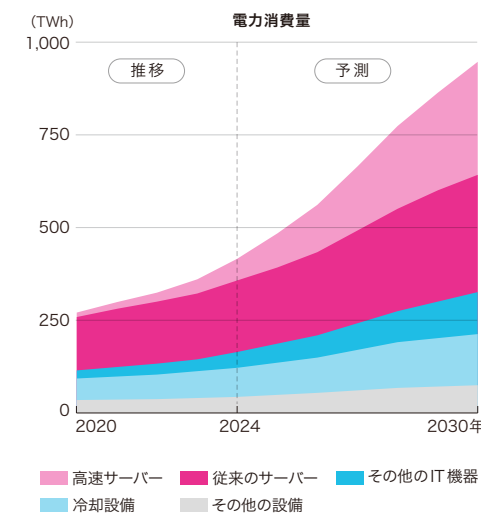
データセンターにおける電力消費量の増加

デジタル社会の発展、生成AIの普及に伴って世界中にデータセンターが増加しています。国際エネルギー機関 (IEA) が2025年4月に公表した報告書「Energy and AI」によれば、データセンターの電力消費量は、2024年から2030年までに約945TWhに倍増するとの見通しを示しており、これは現在の日本の総電力消費量をわずかに上回る水準であるとしています。

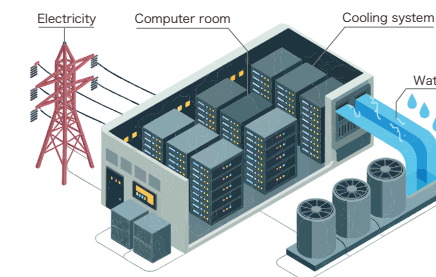
特に生成AI向けデータセンターにおいては膨大な量のデータの処理・計算が行われるため、その電力消費量の増加が社会課題になっています。

キオクシアグループは、サーバー・ストレージに搭載されるフラッシュメモリ・SSDの低消費電力化や大容量化に取り組み、この課題の解決に貢献します。

世界のデータセンターにおける電力消費量推移と予測（2020～2030年、ベースケース）



出典: IEA 2025; "Energy and AI", <https://www.iea.org/reports/energy-and-ai/>, License: CC BY 4.0



1 キオクシアとは

2 トップメッセージ

3 価値創造の取り組み

価値創造プロセス

＜市場・社会環境＞

キオクシアグループの強み

成長戦略

事業活動

戦略マテリアリティ

創出する社会価値

4 経営資本

5 ガバナンス

6 データセクション

キオクシアグループの強み

キオクシアグループは、デジタル社会の発展、生成AIの普及で成長するストレージ市場において、顧客やサプライヤーとの関係を強固に構築し、そのポジションを確立しています。

また、NAND型フラッシュメモリの発明から40年近くの間、業界をリードする技術競争力を培ってきました。コスト競争力のある工場から製品を供給することで、持続的な成長により企業価値の向上を目指します。

高成長市場での強固なポジショニング

当社グループは、スマートフォン、PC、データセンターなどでグローバルに事業を展開する企業と取引があり、多くの顧客と強固な関係を構築しています。また、サーバーやデータセンターなどのリーディングカンパニーとのコラボレーションにより、AI市場向けの新技術、新製品の開発にも取り組んでいます。当社グループは、グローバルな営業・技術・サポート体制によりビジネスチャンスを捉え、事業を拡大します。

また、材料や製造設備などのサプライヤーとの関係を強化し、高性能・高品質な製品を安定的に供給するための強靱なサプライチェーンの構築に努めています。さらに、大学や研究機関などとの産学連携によりイノベーションを創出していきます。

関連する経営資本

 パートナiership	▶ P.39
 人材	▶ P.41

業界をリードする技術競争力

当社グループは、フラッシュメモリ業界のパイオニアとして、「記憶」のテクノロジーで業界をリードし、変化する社会のニーズに応え、アプリケーションの進化を支えてきました。今後も大容量、高性能、低消費電力を実現する、市場競争力のある3次元フラッシュメモリ「BiCS FLASH™」の開発を加速します。

また、生成AIの進化に対応する大容量、高性能のSSDを、当社グループのフラッシュメモリ技術、ファームウェアをはじめとするソフトウェア技術などを融合させて開発していきます。さらに、将来のコンピューター、ストレージシステムにおける多様なニーズに応えるために、新しいコンセプトの半導体メモリなど、多種多様な分野における研究・技術開発を進めています。

関連する経営資本

 テクノロジー	▶ P.35
 人材	▶ P.41

生産規模・生産効率に基づくコスト競争力

当社グループには、世界でも有数のフラッシュメモリ生産規模を誇る四日市工場、今後の需要増加に対応する北上工場の2つの工場があります。AIとビッグデータを活用し、自動搬送システムや生産設備を高度に制御する「スマートファクトリー」として、高い生産性を実現しています。また、研究・技術開発部門と連携し、新製品の開発から量産へのスムーズな移行が可能です。両工場を合わせたフラッシュメモリの生産量（記憶容量ベース）は、当社グループと、米国Sandiskグループとの製造合併会社分を合わせて、世界最大級となる29%※のシェアとなります（2024年度）。このスケールメリットと効率の良い設備投資により、高いコスト競争力を実現しています。今後もフラッシュメモリ市場を的確に捉え、市場動向に合わせた設備投資を機動的に進め、競争力強化に向けた取り組みを展開します。

※出典：TechInsights Inc. 「NAND Market Report Q2 2025」

関連する経営資本

 最先端のフラッシュメモリ工場	▶ P.31
 テクノロジー	▶ P.35

- 1 キオクシアとは
- 2 トップメッセージ
- 3 価値創造の取り組み

価値創造プロセス

市場・社会環境

▶キオクシアグループの強み

成長戦略

事業活動

戦略マテリアリティ

創出する社会価値
- 4 経営資本
- 5 ガバナンス
- 6 データセクション

成長戦略

キオクシアグループは、「高成長市場での強固なポジショニング」「業界をリードする技術競争力」「生産規模・生産効率に基づくコスト競争力」を強みとして、生成AIの普及により成長するフラッシュメモリ市場のニーズに応えるために、大容量、高性能、低消費電力な製品を開発し、市場に提供していきます。また、規律ある投資と戦略的なリソース配分を行い、財務体質を改善し、収益性を向上します。

成長に向けた資源投入

研究開発

市場競争力のある、大容量、高性能、低消費電力なフラッシュメモリ、AI市場向けの大容量SSD、高性能SSDを開発します。また、将来のコンピューター、ストレージシステムのニーズに応える新しいコンセプトの半導体メモリなど多種多様な分野における研究開発を進めます。

テクノロジー ▶ P.35

研究開発費 売上収益比 8～9%

設備投資

今後も拡大が見込まれるフラッシュメモリ市場を的確に捉え、市場動向に合わせて、四日市工場・北上工場の設備投資を規律を持って機動的に進めていきます。また、両工場の生産効率を向上することで高いコスト競争力を実現します。

設備投資額 売上収益比 20%以下

人材採用

研究・技術開発、生産分野を中心に、市場ニーズの多様化、技術の高度化に対応するために、キオクシアグループで多様な人材を年間約700人採用していきます。

※キオクシア(株)および国内グループ会社(定期採用およびキャリア採用)

採用人数 約700人/年

長期財務モデル

フラッシュメモリ市場は、今後もデータ量の増加とフラッシュメモリの技術革新の好循環によって成長を続けるものと当社は考えています。当社グループは長期財務モデルを策定し、事業の持続的な拡大と、将来にわたって「メモリ技術」で新しい時代を切り拓き、世界を変えていくことを目指します。

成長性

フラッシュメモリ市場の成長率^{※1}
と同等の成長率

20%

SSD

SSD市場シェア^{※1}

15%超

設備投資

売上収益比

20%以下

収益性

GB当たり年間コスト削減率

10%台半ば

営業利益率^{※2}

20%台半ば

財務健全性

Net Debt/EBITDA^{※3}

中期

< 1.0

長期

ネット・キャッシュ・ポジション

※1 記憶容量出荷ベース(2024年11月時点の市場見立てに基づく)

※2 Non-GAAPベース

※3 LTM Non-GAAPベース。LTM Non-GAAP EBITDAとは、Non-GAAP営業利益に減価償却費を加算した数値(Non-GAAP EBITDA)の直近4四半期合計値。

1 キオクシアとは

2 トップメッセージ

3 価値創造の取り組み

価値創造プロセス

市場・社会環境

キオクシアグループの強み

> 成長戦略

事業活動

戦略マテリアリティ

創出する社会価値

4 経営資本

5 ガバナンス

6 データセクション

事業活動

キオクシアグループはフラッシュメモリ・SSDの開発・製造・販売を行っています。当社グループは1987年にNAND型フラッシュメモリを発明して以来、約40年にわたり、フラッシュメモリ・SSDの大容量化、高性能化、低消費電力化の技術革新で業界をリードし、デジタル社会の発展とともに成長してきました。

当社グループの製品はさまざまなアプリケーションに搭載されており、売上収益は製品の用途に応じたアプリケーション別の3つに区分しています。「SSD&ストレージ」には主にPC、データセンター、エンタープライズ向けSSD製品およびメモリ製品、「スマートデバイス」にはスマートフォン、タブレット、テレビ等の民生機器、車載、産業機器等に搭載されるコントローラーIC付きの組み込み式メモリ製品等、「その他」にはSDメモリカード、USBフラッシュメモリ等のリテール向け製品と、製造合併会社経由で計上されるSandisk社向けの売上収益等がそれぞれ含まれます。

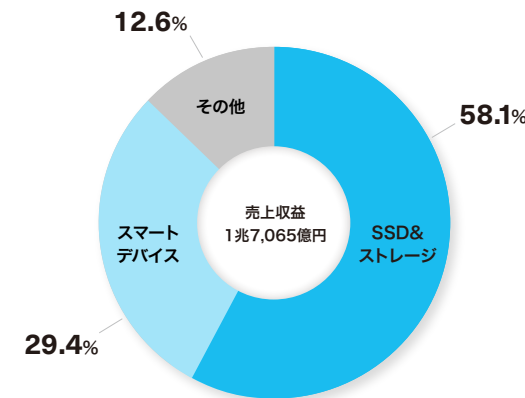
2024年度は需要の回復により売上収益が拡大しましたが、特に生成AIの普及に伴うデータセンター・エンタープライズ向けの大容量SSDの需要が堅調に推移し、「SSD&ストレージ」の売上収益が前年度比約2倍に伸長しました。その結果、「SSD&ストレージ」の売上収益は全体



の58.1%になりました。

当社グループは各市場のリーディングカンパニーとの強固なパートナーシップを構築しており、データセンター、スマートフォン、PC分野で高いシェアを持つグローバルな大手の顧客との取引実績があるほか、サーバーメーカー、GPUメーカーなどとのコラボレーションによるビジネス拡大にも取り組んでいます。研究・技術開発部門、製造部門、営業・マーケティング部門が相互に連携し、市場のニーズにスピーディーに対応して最適な製品を市場に提供しています。今後もCBA技術（▶P.21）などの技術を導入した新製品を開発し、高度化、多様化するニーズに応えます。

アプリケーション別売上収益比率（2024年度）



● SSD&ストレージ	主にPC、データセンター、エンタープライズ向けSSD製品およびメモリ製品
● スマートデバイス	スマートフォン、タブレット、テレビ等の民生機器、車載、産業機器等に搭載されるコントローラーIC付きの組み込み式メモリ製品
● その他	SDメモリカード、USBフラッシュメモリ等のリテール向け製品、および製造合併会社経由で計上されるSandiskグループ向けの売上収益

1 キオクシアとは

2 トップメッセージ

3 価値創造の取り組み

価値創造プロセス

市場・社会環境

キオクシアグループの強み

成長戦略

＞事業活動

戦略マテリアリティ

創出する社会価値

4 経営資本

5 ガバナンス

6 データセクション

事業活動

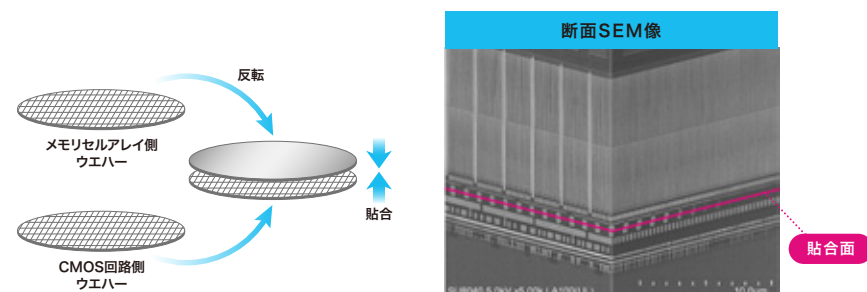
3次元フラッシュメモリの大容量化・高性能化

3次元フラッシュメモリの大容量化を実現する技術は、メモリセルを積層する技術に加え、メモリセルを平面方向にシュリンクする技術、各メモリセルに記憶する情報を論理的に増やす多値化※、新しいアーキテクチャー導入の4つが挙げられます。キオクシアは積層化技術だけでなく、各技術を組み合わせることで、ビット密度（単位面積あたりに記憶できる情報量）を上げ、コスト競争力のある大容量製品の開発を進めています。

※多値化：1つのメモリセルに記憶できるデータの量を増やすこと。1つのメモリセル当たりの記憶容量が少ない順にSLC（Single Level Cell：1bit/Cell）、MLC（Multi Level Cell：2bit/Cell）、TLC（Triple Level Cell：3bit/Cell）、QLC（Quad Level Cell：4bit/Cell）。

第8世代BiCS FLASH™からCBA（CMOS directly Bonded to Array）技術を採用しました。CBA技術とは、3次元フラッシュメモリの新しいアーキテクチャーで、CMOS回路用ウエハーとメモリセルアレイ用ウエハーをそれぞれに適した工程、温度条件で製造し、それぞれのウエハーを貼り合わせる技術です。高い性能を引き出すことができるとともに、チップ面積を縮小することでビット密度を高め、コスト競争力のある製品を提供することができます。

ウエハーを貼り合わせるCBA（CMOS directly Bonded to Array）技術



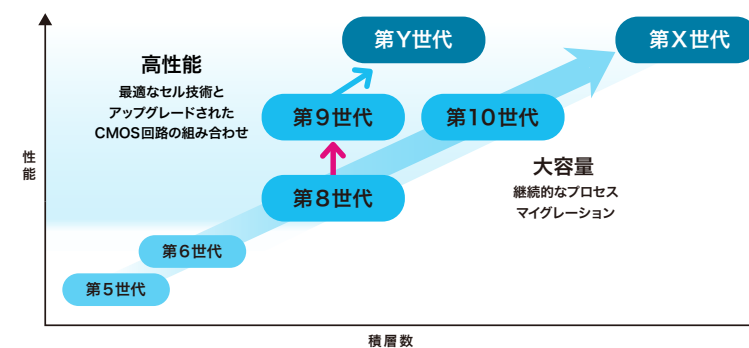
第8世代BiCS FLASH™製品

2024年7月に、CBA技術を採用した第8世代BiCS FLASH™ 1Tb（テラビット）TLCの量産を四日市工場で開始しました。データの読み書き性能を重視した製品で、クライアントSSDやモバイル機器など、高い性能が要求されるアプリケーション向けに展開、生産を拡大しています。また、同月に、より大容量の2Tb QLC製品のサンプル出荷も開始しました。この製品によってAI向けをはじめ、さまざまなアプリケーションにおいて新たな容量での実装を可能とし、拡大するデータ需要に応えます。2025年7月にサンプル出荷を開始した生成AI向け大容量245.76TB（テラバイト）のエンタープライズSSD「KIOXIA LC9シリーズ」（▶P.22）にも搭載されています。

今後の展開：二軸戦略

当社グループは、積層数を増加させて大容量、高性能を実現する製品群と、CBA技術を活用して積層にかかる投資を抑えながら高性能を実現する製品群の二軸戦略で、高度化、多様化するニーズに対応し、競争力ある製品を提供していきます。

二軸戦略のイメージ



1 キオクシアとは

2 トップメッセージ

3 価値創造の取り組み

価値創造プロセス

市場・社会環境

キオクシアグループの強み

成長戦略

＞事業活動

戦略マテリアリティ

創出する社会価値

4 経営資本

5 ガバナンス

6 データセクション

事業活動

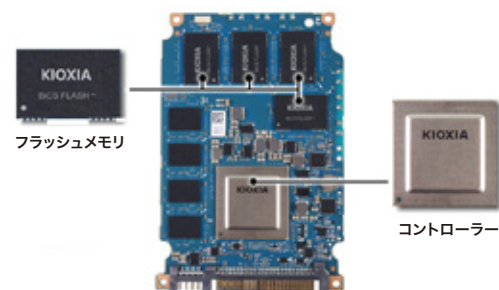
SSD製品開発

SSD (Solid State Drive) はフラッシュメモリにデータを記憶するストレージデバイスで、振動・衝撃に強く、軽量、低消費電力が特長です。SSDではデータを制御するSSDコントローラーICとファームウェアなどのソフトウェア技術が重要です。キオクシアグループのSSD製品はBiCS FLASH™と、自社開発したSSDコントローラーIC、ファームウェアを搭載しています。最新のフラッシュメモリ技術とSSD技術の融合を当社グループの強みとし、PC、エンタープライズサーバー、クラウドデータセンターなどの幅広いニーズに応える製品を提供します。

当社グループは、データ転送の高速インターフェース規格PCIe® 5.0に対応する製品に注力しており、生成AIの普及で高度化・多様化する市場要求やトレンドに対応する先進的なSSD製品でサポートしていきます。

また、今後のAI需要に対して、高速・低レイテンシーの3次元フラッシュメモリ「XL-FLASH」と、新しいコントローラーを組み合わせ、1,000万以上のIOPS（1秒当たりの入出力アクセス数）を実現するSuper High IOPS SSDや、ニアラインHDDに総保有コスト（TCO）で優位に立てる、大容量QLC SSDの開発などの新しいストレージソリューションの開発を進めています。

キオクシアSSDの内部構造



パフォーマンスSSD

KIOXIA CM9シリーズ

AI、機械学習、ハイパフォーマンスコンピューティングなどのワークロードに対応する製品です。PCIe® 5.0インターフェースに対応し、最新の第8世代BiCS FLASH™ TLCを用いて、性能、電力効率のさらなる向上を実現しています。

KIOXIA XD8シリーズ

クラウドサービスなどの大規模データセンター向けのPCIe® 5.0インターフェースに対応した製品です。フォームファクターはEDSFF (Enterprise and Datacenter Standard Form Factor) E1.Sを採用し、優れた性能と熱管理を実現し、システムの密度、効率を高められるように設計されています。



大容量SSD

KIOXIA LC9シリーズ

生成AIの大規模な学習データ、推論に用いる大規模データベース、生成されたデータの効率的な保存に適した製品です。最新の第8世代BiCS FLASH™ 2Tb QLCのチップを一つのパッケージ内に32枚積層したフラッシュメモリ製品を搭載することで、245.76TBの大容量製品をラインアップします。

※PCIeはPCI-SIGの登録商標です。



1 キオクシアとは

2 トップメッセージ

3 価値創造の取り組み

価値創造プロセス

市場・社会環境

キオクシアグループの強み

成長戦略

> 事業活動

戦略マテリアリティ

創出する社会価値

4 経営資本

5 ガバナンス

6 データセクション

事業活動

副社長メッセージ

キオクシアホールディングス株式会社
副社長執行役員

太田 裕雄

フラッシュメモリ・SSDのリーディングカンパニーとして
生成AI社会の発展に貢献します

キオクシアグループを取り巻くストレージ市場は、デジタル市場の成長とともに拡大傾向にあります。特に生成AIの普及に伴って、AIサーバー、エッジデバイスなどの各分野で拡大が見込まれます。AIサーバー分野では、LLM(大規模言語モデル)生成のための学習システムの活用から、実際に企業など多くのユーザーが生成AIを利用する推論システムの活用に広がっており、大容量、高性能で電力効率の良いストレージソリューションが求められます。また、スマートフォンやPCなどのエッジデバイスにおいてもAI搭載モデルの増加が予想されます。

2024年度に、当社グループはCBA技術(▶P.21)を導入した第8世代BiCS FLASH™ 1Tb TLC製品の量産を開始しました。また、同じ第8世代の2Tb QLC製品のサンプル出荷を始めるとともに、このQLC製品を搭載した大容量エンタープライズSSD「KIOXIA LC9シリーズ」を発表しました。これは、当社グループのフラッシュメモリ技術を最大限に活用し、自社で開発したSSDコントローラーと組み合わせることで開発したSSD製品です。

今後も、先端アプリケーションの高度なニーズに応じて、できるだけ既存の製造設備を有効活用し、性能とコストの balan

スも見極めてフラッシュメモリ製品を展開していきます。一つは、さらなる大容量、高性能を実現する製品群で、エンタープライズ、データセンターSSD市場などのニーズに応えます。もう一つは、積層数を抑えながら、高性能を実現する製品群で、エッジアプリケーション向けなど低・中容量帯のさまざまな用途に対応する製品を提供します。これらの製品群を二つの軸としてニーズに的確に応えていきます。また、SSDでは引き続き、高速インターフェース規格PCIe® 5.0に対応したAIサーバー向けのラインアップを強化し、ストレージ市場の中でのポジションを確固たるものにしていきます。

さらに、高速化・高性能化するAIへの需要に対して、新しいメモリデバイス、メモリソリューションを提案して市場を開拓していきます。フラッシュメモリの技術を活用したストレージクラスメモリ「XL-FLASH」などの新たな領域への挑戦、AI市場の進化に対応するための、既存製品に比べて桁違いに入出力アクセス数(IOPS)が大きい、新しいSSD「Super High IOPS SSD」の開発など、競争力のある製品で市場の成長と発展に積極的に貢献していきます。

1 キオクシアとは

2 トップメッセージ

3 価値創造の取り組み

価値創造プロセス

市場・社会環境

キオクシアグループの強み

成長戦略

▶事業活動

戦略マテリアリティ

創出する社会価値

4 経営資本

5 ガバナンス

6 データセクション

戦略マテリアリティ(サステナビリティ重要課題)

戦略マテリアリティとは

キオクシアグループの中長期的な経営にとって重要な非財務資本を特定し、社会と共に持続的に発展していくための「戦略マテリアリティ（サステナビリティ重要課題）」を設定しています。特に当社グループが重要と認識する社会的要請「ステークホルダーからの要請」、当社グループの原動力である「価値創出の基盤」、当社グループがミッションのもとに、「記憶」の技術を通じて中長期的に社会に創り出していく価値を定義した「創出する社会価値」の3つの領域、11の要素から構成されています。それぞれに対応する全部で30項目のKPIを設定し、活動を深化しています。

戦略マテリアリティのコンセプト



設定の経緯と特定プロセス

「戦略マテリアリティ」は、デジタル社会の発展に伴い、当社グループが社会の持続的な発展のために果たすべき役割がますます高まっているという認識のもとに、サステナビリティ経営の深化、方針の明確化のために設定しました。

設定にあたっては、①IFRS財団「国際統合報告フレームワーク」、経済産業省「価値共創ガイ

ダンス」、「GRI (Global Reporting Initiative) スタンドダード」、ISO26000（組織の社会的責任に関する国際規格）などを参考に、②ステークホルダーの関心と当社グループにとっての重要度を検討し、③経営陣へのヒアリングや外部専門家の検証を経て重要テーマの候補を選定、④当社グループのサステナビリティ推進委員会、サステナビリティ戦略会議での協議を経て決定しました。さらに、特定した重要テーマは非財務中期経営計画として、取締役会への報告、審議を行い、実効性を高めています。

主なKPI

特にステークホルダーからの要請が高く、当社グループにとっても重要な気候変動対策などの環境負荷低減や女性活躍推進に注力しています。

名称	概要	KPI
温室効果ガス (GHG)の排出削減	キオクシアグループの事業活動において、GHG排出量削減や再生可能エネルギー活用を推進し、脱炭素社会の実現に貢献します。なお、当社は気候関連財務情報開示タスクフォース (TCFD) の提言に賛同を表明しています。	温室効果ガスネットゼロ (Scope1,2、2050年度までに) 再生可能エネルギーの使用比率 100% (2040年度までに)
製品を通じた環境貢献	キオクシアグループは、製品ライフサイクルのあらゆるステージで環境負荷低減に努めています。	1GBデータ処理当たりのエネルギー消費量削減率 50%※1 (2017年度比、2025年度までに)
女性活躍推進	女性従業員の活躍は、多様性推進の中でも、注力すべき重要なテーマの一つと位置づけて取り組んでいます。	女性役職者数 2019年度の2倍※2 (2025年度までに) 新卒採用に占める女性の比率 事務系45%以上、技術系15%以上(毎年度)※2 2025年6月時点では、女性役職者数と新卒採用に占める女性の比率(事務系)は目標を達成しています。

※1 2017年度を基準とした製造時の製品容量（年間）当たりの相対値

※2 キオクシア（株）

1 キオクシアとは

2 トップメッセージ

3 価値創造の取り組み

価値創造プロセス

市場・社会環境

キオクシアグループの強み

成長戦略

事業活動

＞戦略マテリアリティ

創出する社会価値

4 経営資本

5 ガバナンス

6 データセクション

戦略マテリアリティ(サステナビリティ重要課題)

副社長メッセージ

キオクシアホールディングス株式会社
副社長執行役員
(サステナビリティ責任者)

渡辺 友治

これまでの歩みを力に、事業成長を通じて社会価値を
創出していきます事業活動と一体となったキオクシアグループの
戦略マテリアリティ

私たちが提供する半導体メモリは、デジタル社会を支えるために必要不可欠なものであり、キオクシアグループが貢献する領域は広がっています。持続的に社会の発展に貢献するためのサステナビリティ経営をより深化するために、ステークホルダーと当社グループにとって重要なテーマ「戦略マテリアリティ」を設定し、実践しています。設定にあたっては、サステナビリティ活動が事業活動と関連性が強いことが重要と考え、経営幹部だけでなく、研究・技術開発、営業、工場の部門からも従業員が参加し、何が重要な課題なのかを議論しました。その結果、気候変動などの環境配慮、人材、人権の尊重、持続可能なサプライチェーンおよびパートナーシップなどの事業の根幹にかかわるものが重要であると再認識しました。また、PDCAサイクルとOODAループ^{※1}を回すべく、会議体やタスクフォースなどの活動を推進するための組織を整備しました。さらに、目標に基づき、拠点などが自発的に活動できる風土づくりに取り組んできました。その結果、健康経営優良法人^{※2}の認定、四日市工場・北上工場・台湾のSolid State Storage Technology CorporationでのRBA^{※3}監査の最高位であるプラチナ・ステータスの取得などに結びついています。

これまでの取り組みを発展させ、バリューチェーン
全体で社会への価値創出を目指す

私たちは、四日市工場の立ち上げ当時（1992年）から自主的に、環境に配慮した設備への投資、生産活動を続けてきました。このように、私たちが従前から大切にしてきたことが現在の当社グループのサステナビリティ活動に結びついています。これらの取り組みの継続にあたっては、お客様やパートナーの皆さまのご理解とご協力が欠かせません。お客様には、キオクシアグループの取り組みである、CO₂排出量削減や製品使用時のエネルギー消費効率向上を丁寧にご説明し、当社グループの製品・サービスがお客様に対して付加価値を生み出すことを訴求してきました。また、パートナーの皆さまに対しては、当社グループの事業が社会にもたらす影響を伝えるとともに、相互理解のためのコミュニケーションを続けて、人権の尊重などの取り組みも進めてきました。

今後も、これまで取り組んできたことを着実に発展させ、当社グループだけでなくバリューチェーン全体を通じて、成長と社会への価値創出を目指します。

※1 OODAループ: Observe(観察)・Orient(状況判断)・Decide(意思決定)・Act(行動)のプロセスで、変化の速い環境に適応しやすい意思決定の方法。

※2 健康経営優良法人: 経済産業省と日本健康会議が地域の健康課題に即した取り組みや日本健康会議が進める健康増進の取り組みをもとに、特に優良な健康経営を実践している大企業や中小企業などの法人を顕彰する制度。

※3 RBA(Responsible Business Alliance): グローバルなサプライチェーンにおいて労働者およびコミュニティの権利と福祉を支援する非営利組織。当社は2021年に加盟。

1 キオクシアとは

2 トップメッセージ

3 価値創造の取り組み

価値創造プロセス

市場・社会環境

キオクシアグループの強み

成長戦略

事業活動

▶ 戦略マテリアリティ

創出する社会価値

4 経営資本

5 ガバナンス

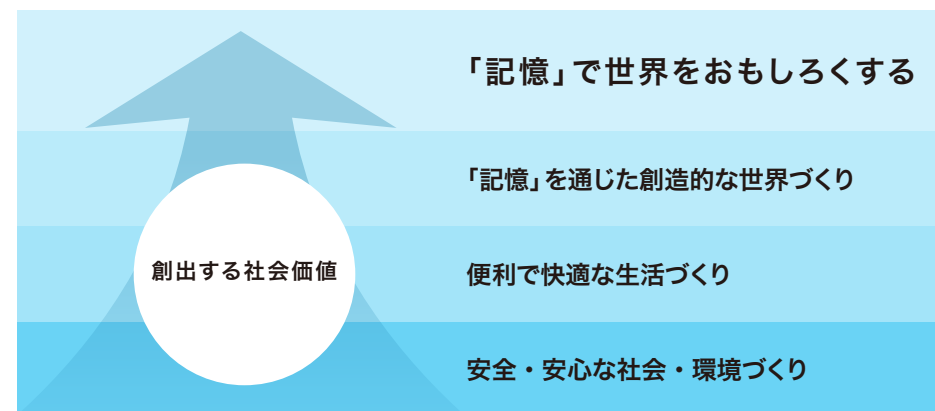
6 データセクション

創出する社会価値

基本的な考え方

データ活用の基盤を提供し社会に新たな価値を提供する

キオクシアグループは、『『記憶』で世界をおもしろくする』というミッションのもと、製品・サービスや技術を通じて、パートナーの皆さまと共に社会に価値を創り出し、デジタル社会の発展を支えています。私たちの製品であるフラッシュメモリ・SSDをさらに大容量化、高性能化、低消費電力化し、先端技術開発に取り組むことで、より多くの人の便利で快適な生活を支え、多様化する社会課題へ新たなアプローチを提供し、人々の安全・安心な社会環境づくりに貢献します。そして、『記憶』を通じて創造的で心弾む世界を実現するために、データ活用の基盤を提供し、社会に新たな価値を提供することを目指します。

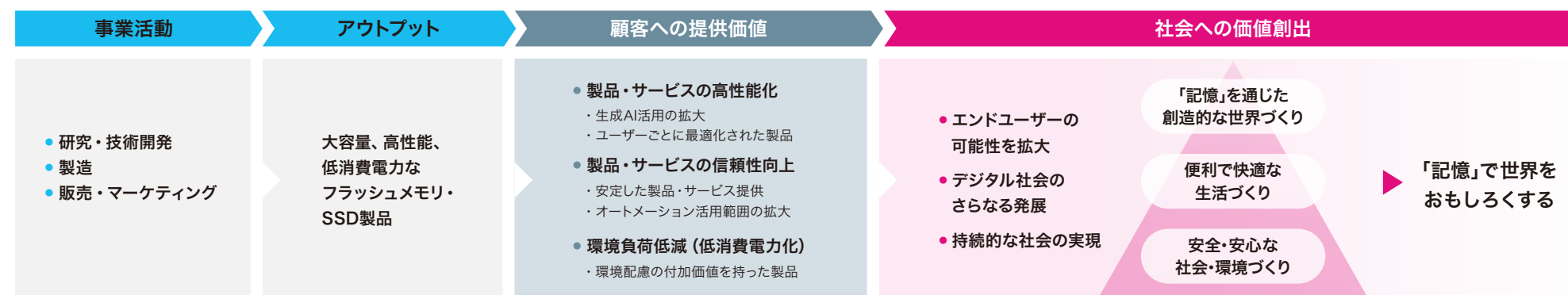


「創出する社会価値」は、「戦略マテリアリティ（サステナビリティ重要課題）」（▶P.24）のうち、当社グループが製品・サービス、技術を通じて、パートナーの皆さまと共に社会に貢献する領域

キオクシアグループの事業活動が社会価値を創出するまでのプロセス

当社グループが顧客のビジネスを通じて社会に価値を創出するプロセスを例にとると、当社グループが顧客の多様で高度なニーズに応える製品を提供することが、顧客の製品・サービスの品質向上やビジネスの創出・拡大につながります。それらはエンドユーザーの利便性や可能性をさまざまな場面で支え、より多くの人々にデジタル社会の発展の恩恵をもたらします。このことから、当社グループの製品が社会に価値を創ることに貢献していると言えます。ひいては、私たちのミッションである『『記憶』で世界をおもしろくする』の実現につながります。

当社グループの事業活動が社会に価値を創出する例



1 キオクシアとは

2 トップメッセージ

3 価値創造の取り組み

価値創造プロセス

市場・社会環境

キオクシアグループの強み

成長戦略

事業活動

戦略マテリアリティ

▶ 創出する社会価値

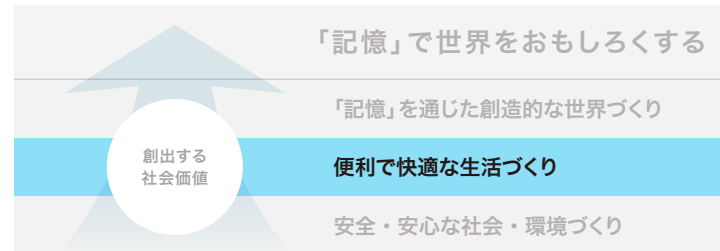
4 経営資本

5 ガバナンス

6 データセクション

創出する社会価値

便利で快適な生活づくり

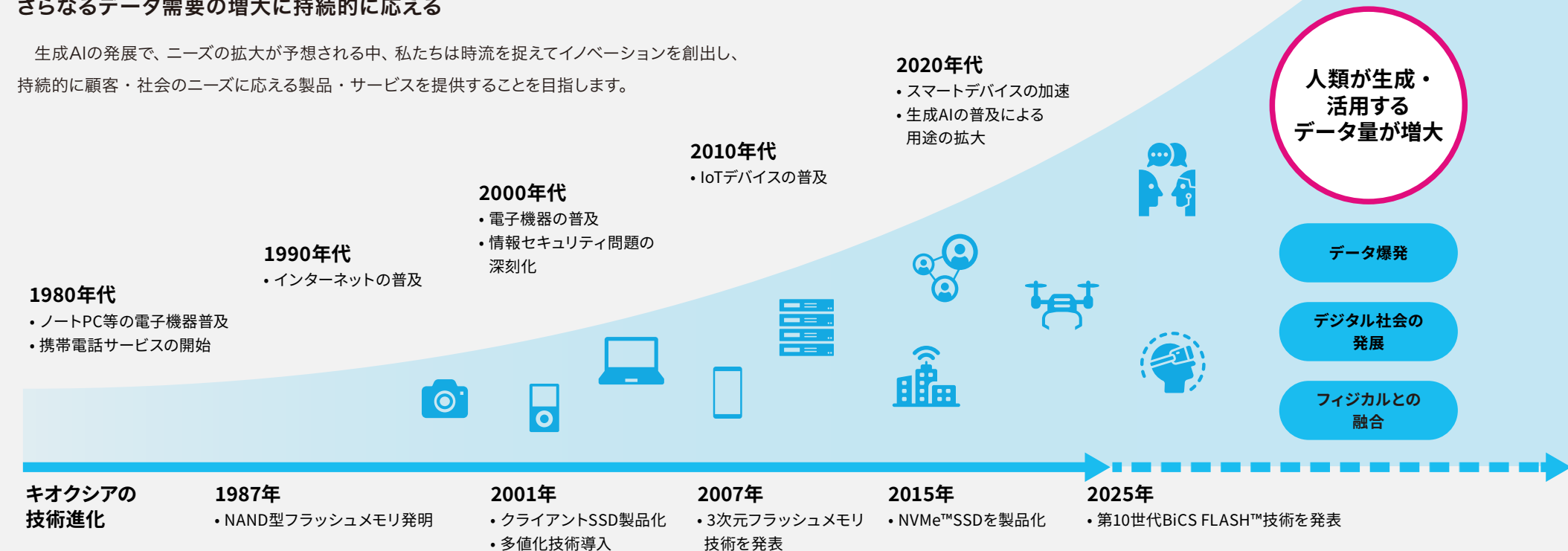


デジタル社会の発展に貢献してきたキオクシアグループ

当社グループは、1987年のNAND型フラッシュメモリの発明に代表される半導体メモリの技術で、デジタル社会の進展の基盤づくりに貢献してきました。今では、フラッシュメモリは、私たちの生活を支える多くの電子機器やクラウドコンピューティングを支えるために必要不可欠なものです。私たちの製品・技術が人々の便利で快適な生活の実現に貢献しています。

さらなるデータ需要の増大に持続的に応える

生成AIの発展で、ニーズの拡大が予想される中、私たちは時流を捉えてイノベーションを創出し、持続的に顧客・社会のニーズに応える製品・サービスを提供することを目指します。



1 キオクシアとは

2 トップメッセージ

3 価値創造の取り組み

価値創造プロセス

市場・社会環境

キオクシアグループの強み

成長戦略

事業活動

戦略マテリアリティ

> 創出する社会価値

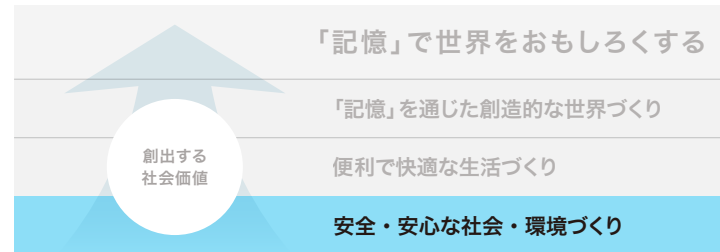
4 経営資本

5 ガバナンス

6 データセクション

創出する社会価値

安全・安心な社会・環境づくり



「記憶」の技術で新たなアプローチを創り出し、人々の安全・安心な生活を支えることに貢献する

人々が便利で快適な生活を過ごすためには、その土台となる安全・安心な社会・環境づくりが必要不可欠です。社会課題が複雑化・深刻化する中、キオクシアグループは「記憶」の技術で新たなアプローチを提供し、さまざまな社会課題の解決に貢献し、人々の生活基盤を支えています。

持続可能なデジタル社会を支える



社会・顧客のニーズ

社会のあらゆる場面でフラッシュメモリやSSDが活用されるようになり、その大容量化・高速化へのニーズは高まり続けています。一方で、デジタル製品・サービスの普及とともに消費電力・CO₂排出量の削減が期待されています。

キオクシアグループのアプローチ

当社グループは、製品のライフサイクルのあらゆるステージで環境負荷低減に努めています。エネルギー消費効率の高いメモリ・SSD製品を社会に提供することで、デジタル製品・サービス使用時におけるデータ処理当たりの電力消費量削減に貢献します。

クルマ社会の利便性を支える



社会・顧客のニーズ

5GやIoT、AIの発展とともに、クルマは今やコネクテッドカーとしてさまざまなデータを活用しています。車載機器の複雑化・高度化によるデータストレージの需要は拡大を続けています。

キオクシアグループのアプローチ

車載用として求められる環境ストレスに対する信頼性など、高度な要件に対応した高性能かつ大容量の車載用UFSとe-MMCメモリ製品などで、クルマの利便性や安全性の向上に貢献します。

高度化する情報社会のセキュリティを支える



社会・顧客のニーズ

デジタル技術の発展、インターネットの普及は、私たちの日常生活やビジネスを便利にする一方で、情報セキュリティが課題になります。

キオクシアグループのアプローチ

当社グループは、エンタープライズ、データセンター、クライアントSSDなど、セキュリティプロテクションを必要とするパーソナルデータやビジネスデータを保護するためのニーズに応えています。

※オプションのセキュリティ機能対応ドライブは輸出規制や法規制などにより販売できない国があります。

1 キオクシアとは

2 トップメッセージ

3 価値創造の取り組み

価値創造プロセス

市場・社会環境

キオクシアグループの強み

成長戦略

事業活動

戦略マテリアリティ

＞創出する社会価値

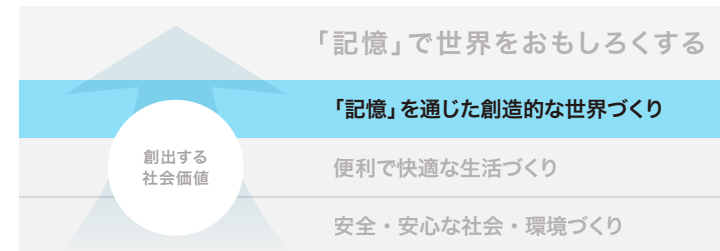
4 経営資本

5 ガバナンス

6 データセクション

創出する社会価値

「記憶」を通じた創造的な世界づくり



パートナーと共に、「記憶」の技術で人々が生き生きと暮らすことができる、 おもしろい世界の実現に貢献する

私たちは、人々の安全・安心、かつ便利で快適な生活が実現した上で、「記憶」の技術で「おもしろい」という文化を多くの人が体験できる世界を実現したいと考えています。

キオクシアグループは、これからも「記憶」の技術を通じて、パートナーの皆さまと共に、時間・空間を超えた多様な体験や創造的な表現・コミュニケーションができるおもしろい世界の実現を目指し、創造的な世界づくりに挑み続けます。

生成AIの発展を支え、新たなデータ活用の可能性をもたらす

生成AIの発展は、人々の生活や産業を飛躍させるだけでなく、人々に創造的な活動をもたらします。当社グループは、将来の情報社会の基盤のみならず、人々の価値創造を支えることにも貢献します。



先端技術でパートナーと共にイノベーションを創出する

当社グループは「記憶」の技術を活用し、宇宙開発や脳科学などのさまざまな先端分野の研究開発パートナーと共に、イノベーションを創出します。



キオクシアグループは、これからも「記憶」の技術を通じて、
データ活用の基盤を提供し、創造的な世界づくりに挑み続けます。

1 キオクシアとは

2 トップメッセージ

3 価値創造の取り組み

価値創造プロセス

市場・社会環境

キオクシアグループの強み

成長戦略

事業活動

戦略マテリアリティ

＜創出する社会価値＞

4 経営資本

5 ガバナンス

6 データセクション